

FM東広島 放送スケジュール

FM東広島(89.7MHz)で
金田先生の講座を放送します。
それぞれ、日曜日17時～、
再放送をします。

第1回 11月2日(金)12時～

暦の基本構造

- なぜ今暦なのか。
- 太陽一月一地球の物理的特性および周期。
- 太陽暦、太陰暦、太陰太陽暦

第2回 11月9日(金)12時～

太陰太陽暦(旧暦)を学ぶ

- 太陽暦的要素と太陰暦的要素
- 年始め、月初め、一日の始まり
- 二十四節気と七十二候

第3回 11月16日(金)12時～

暦で文学を豊かに読む

- 秋の歌「花野」
- 芭蕉「奥の細道」
- 蕪村の句の世界

第4回 11月23日(金)12時～

暦と生活 —豊かな生活のために—

- 月を生活の中に取り込む。『枕草子』
- 月と動物、植物の関係。畑と虫
- 月のエネルギー(引力、潮汐)



「月と季節の暦2018」(月と太陽の暦制作室)の表紙

月暦 十一月(霜月)							西暦 2018年12月7日(金)～2019年1月5日(土)						
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四
十五	十六	十七	十八	十九	廿	廿一	廿二	廿三	廿四	廿五	廿六	廿七	廿八
廿九	卅												

月歴と旧暦が書かれたカレンダー「月と季節の暦2018」

旧暦では、月が大切である。地球を月が一周するのは約29.5日(1朔望月)。毎夜、月の形が変わってゆく。新月(見えない)→上弦(右側が明るい半月)→満月(望月)→下弦(左側が明るい半月)→新月と。月の形で今日が何日か、分かった。1日朔(新月立ち、ついたち)、7日(上弦、例:七夕)、15日(満月、十五夜)など。旧暦で、日を聞いて月を想像してみよう。

世界には、さまざまな暦がある。東アジア、特に日本列島は自然環境に恵まれている。中緯度の地帯にあり、モンスーン気候帯に属し、四方、海に囲まれていて、海抜0から3000メートルまでの植生が楽しめる。だから、5日刻みの二十四節気、5日刻みの七十二候など、他地域では考えられないほど、変化に富んだ暦があった。その暦の魅力を考えてみよう。

月の暦は、現代のモダンリズム。太陽と月と地球、天体暦がいい。「暦の時間は、生活の時間と宇宙の時間に架けられた橋である」(ポール・リクール)。その暦に合わせて、人類は、生活し、労働し、競争にまみれ、文化を築いてきた。5千年以上の歴史がある。昼と夜の交替、1日である。地球の側から見ると、太陽は天体上の行路(黄道)を通っているように見える。元の位置に戻るのが1年。昼の

太陽を基準にするのが太

暦は月の暦から始まった

中国の暦も、その中国が

この約11日のズレを調整して作られたのが、太陰太陽

最長が夏至、最短が冬至、昼夜等しいのが春分、秋分である。地球の赤道が天の赤道から23.7度傾斜しているため、季節の変化が生まれる。月は地球を約29.5日かけて一周する。それがひと月(1朔望月)。月は毎夜形を変えて、暦の日々を区切つてゆく。

イスラム世界で今も使っているのが、月だけを基準にする太陰暦。12朔望月を1年とすれば、354日。この約11日のズレを調整して作られたのが、太陰太陽暦。かつて農業暦として世界中で一般的であった。

月を楽しむ

現代人は、月を見なくなった。都会生活者には高層のビルに妨げられて月が見えない。電気照明が月の有難さを忘れさせる。東西が一望できる南向きマンションの住人、田園で周囲を山や森に囲まれて暮す人々は、幸せである。月が見える。湖や池、夏ならば田植え直後の水郷では、月が水に映える。美しい。

FM東広島

〈テーマ〉

旧暦併用のススメ 季節感を取り戻そう

広島大学OBの教職員らでつくる「広大マスターズ」の会員を講師に迎えた週1回のラジオ講座を放送します。テーマは生活、地域社会などで、全4回。11月2～23日の内容を少しだけ紹介します。

ラジオ講座「学びの時間」 11月2～23日

今回の講師 ▶ 金田 晋さん

かなた・すすむ 博士(文学)。美学専攻。「現象学的美学」の確立を目指す。近年、公共性(パブリック)の美意識という観点から、環境・暦・都市・地域・美術館等の諸問題にも積極的に発言。東亜大学特任教授。広島大学名誉教授、蘭島閣美術館名誉館長等。

